

## 交通のご案内

### お車をご利用の場合

- ▶三陸自動車道「登米IC」から5分
- ▶東北自動車道「築館IC」から40分
- ▶東北自動車道「若柳金成IC」から40分
- ▶東北自動車道「古川IC」から50分

### 高速バスをご利用の場合

- ▶とよま総合支所行き乗車(90分)  
「とよま明治村停留所」下車すぐ

### JRをご利用の場合

- ▶東北本線「新田駅」下車、車で30分
- ▶東北本線「瀬峰駅」下車、車で40分

### 新幹線をご利用の場合

- ▶東北新幹線「古川駅」下車、車で50分
- ▶東北新幹線「くりこま高原駅」下車、車で45分



## 登米市高倉勝子美術館 桜小路

〒987-0702 宮城県登米市登米町寺池桜小路88-1  
TEL.0220-52-2755 FAX.0220-52-2755  
開館時間／午前9時～午後4時30分  
休館日／12月28日～1月4日  
URL : <http://www.takakura-art.com>

〈観光、イベントなどのお問い合わせは〉

**(株)とよま振興公社**  
(とよま観光物産センター・遠山之里内)



〒987-0702 宮城県登米市登米町寺池桜小路2  
TEL:0220-52-5566 FAX:0220-52-2630  
ホームページ <http://toyoma.co.jp>

# 登米市 高倉勝子美術館 桜小路



花の中

**KATSUKO TAKAKURA**  
Art Museum



日本画家 高倉勝子

高倉勝子画集「悠・祈り・いのち・風流・大地」より

いつも縄文の詩を口ずさみながら…  
私の絵の一枚一枚には、悠久の流れを物語らせて描いてまいりました。  
御高覧、御批評を賜りますようお願い申し上げます。

奥山育ちの私には、都会風な洗練された作品は一点もない。でも豊かな人情に触れ、大地を耕す。祈る心の敬虔な人々に支えられて、謙虚に生きることを教えられ、学んできた。

原爆症の不安におびえ、はらいのけながら明け暮れてきた長い歲月、日月を中心とした、水、火、木、金、(石)土の五行思想の自然崇拜の祈る心が極めて自然に引き継がれ、そして私の心奥に定着してつきまとい、折りにふれ、時々はつきりした形としてみたい想いになるものを考える。

縄文をめぐるわたしの心の巡礼は近年とみにこれに傾斜していくように思える。  
ふと気がついて足を止め、何気なしに作品を見る。じっと観る。愚直筋、只、ひたすらに描く。仕事をすする。畑を耕す。

## 悠久の流れの中で

### 高倉勝子プロフィール

- 大正12年 宮城県登米郡登米町に生まれる
- 昭和15年 女子美術大学日本画部に入学
- 昭和20年 広島で原子爆弾をうけ全身負傷し奇跡的に助かる(当時陸軍中尉であった夫、文麿とともに広島での任地で被爆)
- 昭和23年 宮城県登米郡登米中学校教諭に任命される
- 昭和31年 「少女」河北美術展入選
- 昭和32年 宮城県多賀城中学校教諭に任命される(宮教委)「稽古」河北美術展入選
- 昭和33年 第22回河北美術展出品作「黄衣」文部大臣賞を受賞
- 昭和37年 第26回河北美術展出品作「漁婦」東北放送賞を受ける
- 昭和41年 第30回河北美術展出品作「彼岸詣り」仙台市教委賞受賞
- 昭和42年 宮城県芸術協会展出品作「春子」後援会長賞受賞  
宮城県多賀城市より永年勤続で表彰される(多教委)
- 昭和43年 宮城県芸術祭展出品作「猫と少女」芸術祭賞受賞
- 昭和46年 第35回河北美術展出品作「母と子」宮城県知事賞受賞  
宮城県芸術祭展出品作「鏡」仙台市長賞受賞
- 昭和49年 第38回河北美術展出品作「餅花祀」宮城県知事賞受賞
- 昭和51年 第40回河北美術展出品作「離農」宮城県知事賞受賞
- 平成元年 宮城県文化功労者として表彰される
- 平成5年 仙台市市政功労者として表彰される
- 平成20年 文部科学大臣より地域文化功労賞を受賞
- 平成21年 高倉勝子美術館「桜小路」建設(登米市に寄贈)
- 平成22年 内閣総理大臣より紺綬褒章を授与される
- 平成27年 7月3日 逝去

### 主な出版物

- 昭和49年 「古げたのおぼけ」(塩釜市教育委員会)
- 昭和54年 「墨絵の楽しさ」「つつみのひなっこ」  
「宮城の歴史ものがたり」の編集委員と挿絵を担当
- 平成7年 高倉勝子画集「悠・祈り・いのち・風流・大地」
- 平成16年 高倉勝子画集「悠・祈り・いのち・風流・大地」その2
- 平成22年 高倉勝子画集「悠・祈り・いのち・風流・大地」記念出版
- 平成27年 「青空晴れて一広島原爆被弾の巻一」

### 主な役職

- 河北美術展 参与 ○宮城県芸術協会 参事
- 河北カルチャー教室講師(水墨画)~H20
- 石巻市雄勝町「石板画」審査委員(指導)~H20
- 仙台社会保険センター 水墨画教室講師
- 墨泉会・水平会(水墨画)、緑扇会(日本画)を主宰



登米市高倉勝子美術館



常設展示室

アトリエ

■高倉勝子美術館「桜小路」観覧料

個人		料金表	団体	
対象	料金		対象	料金
一般	200円		一般	160円
高校生	150円		高校生	120円
小・中学生	100円		小・中学生	80円

※1団体20名様以上で団体扱いとなります。  
●アートバル(多目的室)……使用料200円、冷暖房料100円(各1時間あたり)

■6施設共通観覧料

(高倉勝子美術館・教育資料館・警察資料館・水沢県庁記念館・登米懐古館・伝統芸能伝承館)

区分	個人	団体
一般(学生を含む)	1000	800
高校生	750	600
小・中学生	500	400



ギャラリー



アートバル(多目的室)



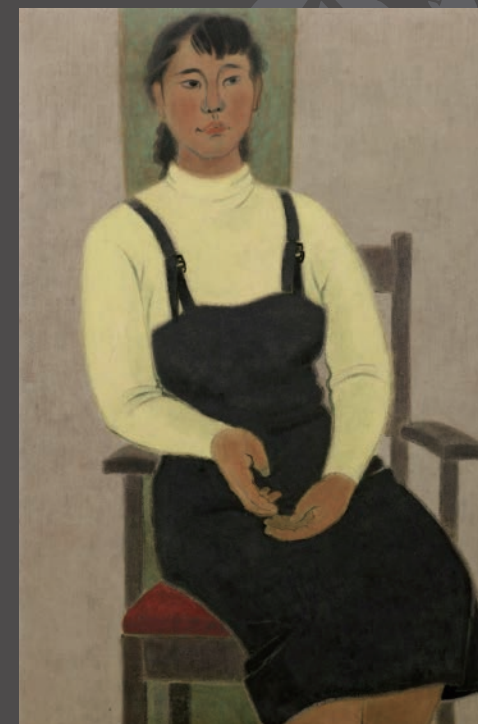
「篝火に舞う」

篝火をたいて、清浄な雰囲気の中で夜のふけるまで舞い詠う姿は美しい



「花冠」

帽子にも髪にも首にも花屋さんには無い美しい野の花。みんな純真。



「黄衣」

(文部大臣賞受賞作)

お手伝いのM子、恥ずかしいと言いつつモデルを引き受けて…

～主な作品の紹介～

年	作品	受賞歴
1958(昭和33年)	黄衣	文部大臣賞
1964(昭和39年)	漁婦	F氏賞
1966(昭和41年)	母子の像	芸術祭奨励賞
1971(昭和46年)	母子像	宮城県知事賞
1973(昭和48年)	昔ばなし	東北放送賞
1974(昭和49年)	餅花祀	東北放送賞
1976(昭和51年)	離農 その一	宮城県知事賞
1987(昭和62年)	花の中	
1988(昭和63年)	篝火に舞う	
2000(平成12年)	日本三大山寺	墨泉会



「日本三大山寺」

日本の三山寺について、柴式部に縁のある近江の国の石山寺はあまりにも有名。次に出羽の国・山寺の岩山寺(立石寺)、そして奥州仙台(衆区)にある砂山寺は宗の近くの寺なのに、洞雲寺の和尙から聞きはじめてその存在を知る。